



第 95 卷 総 目 次

平成 24 (2012) 年

第九五卷 第一号 特集 都市

特集「都市」によせて……………吉井秀夫：一（一）

論 説

戦国・秦代の県……………土口史記：一（五）

「藤原京の成立」遺構解釈の一例……………深澤芳樹：一（三八）

一三世紀都市トゥールーズにおける「異端」の抑圧と文書利用……………函師宣忠：一（七四）

要塞、市壁、「石の商館」……………和田郁子：一（一〇〇）

近世上方幕府直轄都市と譜代藩……………藤本仁文：一（一四〇）

都市における移住者と文化……………長井伸仁：一（一七八）

衝撃都市からゾーン都市へ……………中野耕太郎：一（二〇九）

研究動向

曹魏洛陽の宮城をめぐる近年の議論……………向井佑介：一（二四七）

「ヒロシマ」の研究動向と現状と展望……………山本昭宏：一（二六七）

書 評

Lainona Briedis Vihms……………梶さやか：一（二八一）

布野修司・韓三建・朴重信・趙聖民著

『韓国近代都市景観の形成 日本人移住漁村と鉄道町』……………山元貴継：一（二八八）

【論 説】

宦官エウトロピオスの行政改革……………	南雲泰輔…二(三一七)
コンスタンティノープル陥落後の総主教ゲナディオス二世のヘレニズム……………	上柿智生…二(三四八)
帝国法制の外部展開……………	西山喬貴…二(三八六)
F T A交渉と欧州統合(一九五六—一九五九)……………	能勢和宏…三(四五七)
松平定信と「鎖国」……………	岩崎奈緒子…三(四九一)
明代内閣職掌形成過程の研究……………	高橋亨…三(五二四)
唐朝政権の形成と太宗の氏族政策……………	堀井裕之…四(六〇三)
法然没後の専修念仏教団と「嘉祿の法難」事件……………	坪井剛…四(六三五)
『日本書紀』編修論序説……………	笹川尚紀…五(七一九)
慶長期における徳川家康の寺院政策……………	林晃弘…五(七五〇)
秦漢時代の戸籍と個別人身支配……………	劉欣寧…六(八二三)
竇融期の河西統治制度と対外政策……………	野口優…六(八五七)
戦国期の徳政と地域社会……………	大河内勇介…六(八八九)

【研究ノート】

信長の参内と政権構想……………	藤井讓治…四(六七一)
-----------------	-------------

【史料紹介】

六世紀のソグド系響銅……………岡村秀典・廣川 守・向井佑介…三（五五三）

【書評】

- 東村純子著『考古学からみた古代日本の紡織』……………菱田哲郎…二（四二四）
- 藤井讓治著『天皇と天下人』……………跡部 信…二（四二九）
- 杉江進著『近世琵琶湖水蓮の研究』……………東 幸代…二（四三五）
- 石川禎浩著『革命とナシヨナリズム』……………水羽信男…二（四四一）
- 市大樹著『飛鳥藤原木簡の研究』……………本庄 総子…三（五八二）
- Serena Connolly, *Lives behind the Laus*……………山下孝輔…四（六八七）
- 三枝暎子著『比叡山と室町幕府』……………高谷知佳…四（六九三）
- Claudia Nowak, *Was ist des Elsassers Vaterland?*……………園屋 心和…四（七〇〇）
- 上島亨著『日本中世社会の形成と王権』……………井原今朝男…五（七八一）
- 根津由喜夫著『ビザンツ貴族と皇帝政権』……………井上 浩一…五（七八七）
- 原田洋一郎著『近世日本における鉱物資源開発の展開』……………徳安浩明…五（七九四）
- 幡鎌一弘編『語られた教祖』……………川瀬 貴也…五（八〇〇）
- 若尾祐司・井上茂子編『ドイツ文化史入門』……………北村 昌史…五（八〇六）
- 田中きく代、中井義明、朝治啓三、高橋秀寿編著
『境界域からみる西洋世界』……………阿部拓児・西山喬貴・福元健之・南雲泰輔…六（九二二）

【紹介】

ピーター・サルウェイ編『ローマ帝国時代のブリテン島』	藤井 崇	二 (四四七)
元木泰雄・松蘭斉編著『日記で読む日本中世史』	松井直人	三 (五九〇)
福江充著『江戸城大奥と立山信仰』	岩鼻通明	四 (七〇七)
丸山俊明著『京都の町家と火消衆』	石津裕之	四 (七〇八)
山本隆志編著『那須与一伝承の誕生』	長村祥知	六 (九二九)

【会告】

二〇一一年度史学研究会大会・総会の記録、大会講演要旨（藤井讓治「信長の参内と政権構想」）	和田晴吾「古墳の他界観」	一 (二九四)
理事・評議委員会報告	史学研究会役員	一 (二九七)
		四 (七一一)